

会報

[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2000年 7月

〒105 - 0001 東京都港区虎ノ門1 - 15 - 16 財団法人日本太鼓連盟

副会長 塩見 和子 Tel.03 - 3580 - 9536 Fax.03 - 3580 - 8322

URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

— ごあいさつ —

財団法人 日本太鼓連盟
初代会長 吉野 和男

太鼓関係者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

本年の2月任期満了に伴い、20年間務めた東京都府中市長を引退し、これを機に全ての公職から退くことにいたしました。これに伴い財団法人日本太鼓連盟の会長職も任期満了となる6月30日をもって退任いたしました。

1997年11月11日の財団設立時に初代会長として就任以来、日本太鼓は日本財団をはじめとする関係団体のご支援のもと、支部、加盟団体、会員の皆様が一丸となって事業活動に積極的に取り組まれ、大きく発展してまいりました。

一つめは会員組織制度の充実です。支部の設置や入会方法等会員制度に関する事項を明確化するために規程を制定し、各地の支部並びに加盟団体と緊密な連携を図ってまいりました。また、未組織の団体には財団に加盟するよう積極的に働きかけてまいりました。今日では、支部は32都道府県に開設され、加盟団体数は742チーム、会員総数は2万人を超えております。2002年までに全国47支部化を目指しておりますので今後は、この数はさらに増えることが確実視されております

二つめは資格認定制度の充実です。日本太鼓資格認定に関わる事項を規程、要領化し、日本太鼓の指導者の育成と技術の向上を図ることを目的に「公認指導員」「技術認定員」の認定を全国講習会で行っております。最近では、各支部主催の講習会でも受講者が常に150名を超え、多くの資格者を輩出しております。一方、2002年から取り入れられる中学校での和楽器音楽教育に向け、先生をはじめとする学校関係者の講習会参加や啓蒙普及のための太鼓教室の実施が急がれます。

三つめは日本太鼓の普及、振興を図るための事業の定着化です。今日まで日本太鼓全国フェスティバルと日本太鼓チャリティコンサートはそれぞれ4回、日本太鼓ジュニアコンクールと日本太鼓障害者大会はそれぞれ2回開催しております。これらの大会は、いずれも多くのお客で埋まり、好評を博しております。しかし、日本太鼓の普及を高め、定着を図っていくためには、財団と会員全体が一丸となって時代の流れや社会の変化に対応していく必要があります。

四つめは日本太鼓の海外普及に務めることです。我が国を代表する伝統音楽の一つとして国際交流、文化交流の一躍を担うため財団設立以降今日まで海外公演を6回、13カ国で実施し、公演国で高く評価されております。これからは、海外での普及をより一層広げていくため、各国に拠点を設け相互間の交流を図っていく必要があります。

五つめは各地との情報連絡網の充実と諸会議の適正な運営であります。財団設立後は、規程に基づき、代議員会、運営委員会、技術委員会を設置し定期的にまたは、必要に応じ開催し、当財団の事業活動に関わる事項や要請事項等を審議し、太鼓界の発展に貢献しております。これからは、会員ひとり一人に諸会議の結果が周知徹底されることや会員の意見が支部や中央に反映されることが相互の信頼関係に結びつくものと考えます。

日本太鼓は、「故郷の心」を力強いリズムで奏で、聴く者の身体に響き、語りかけ、明日への活力を呼び起こす我が国の代表的な音楽です。これからも、日本太鼓が国内のみならず、諸外国においても愛好され、普及、定着されることを期待しております。

終わりに、皆様のますますのご健康、ご多幸を心からご祈念申し上げ、退任の挨拶といたします。

第3期役員の新任及び支部開設等を議決

～第6回理事会、第5回評議員会を開催～

第6回理事会を開催

第6回理事会が6月8日(木)13時30分より東京都港区アークヒルズクラブにおいて開催されました。

理事会において、次のことが審議され、それぞれ可決承認されました。

■第1号議案

1999年度事業報告及び決算について

■第2号議案

2000年度事業計画及び収支予算の一部変更について

■第3号議案

会長、副会長、常務理事の新任について

- ・会長は適任者が見つかるまでの間空席として、運営担当の塩見副会長を会長職務代行とする。

■第4号議案

東京都、愛知県支部の開設について(別項)

第5回評議員会を開催

第5回評議員会が6月8日(木)11時より東京都港区アークヒルズクラブにおいて、開催されました。

評議員会において、次のことが審議され、それぞれ可決承認されました。

■第1号議案

1999年度事業報告及び決算について

■第2号議案

2000年度事業計画及び収支予算の一部変更について

■第3号議案

任期満了に伴う理事・監事の新任について

- ・吉野会長には、2月の任期満了に伴い府中市長を退任されたのを機に、全ての公職を辞された。当財団では、引き続き会長をお願いしていたが意思が強いため理事の新任を見送った。
- ・在日英国大使のデイビット・ジョン・ライト閣下が本国に帰還されたため、後任のステイヴン・ジョン・ゴマソール閣下を理事に選任した。

〈財団法人日本太鼓連盟・第3期役員〉

(任期：2000年7月1日～2002年6月30日まで)

会長代行

塩見和子 (財)日本音楽財団理事長

副会長

池田庄作 (社)石川県太鼓連盟理事長

副会長

小口大八 御諏訪太鼓保存会会長

常務理事

小野 巽 常勤(事務局長兼務)

理事

浅野 義幸 (財)浅野太鼓文化研究所会長

井関 君夫 (財)日本太鼓連盟埼玉県支部長

植村 泰一 東京音楽大学理事・教授

大宅 映子 評論家

景山俊太郎 参議院議員、
(財)日本太鼓連盟島根県支部長

ステファン・ジョン・ゴマソール 駐日英国大使

鈴木 俊秋 (財)日本太鼓連盟秋田県支部長

中地 洸 全国モーターボート競走施行者
協議会理事長

西角井正大 実践女子大学教授

長谷川 義 全九州太鼓連合会長

クリストファー・マクドナルド 日本ロレックス(株)
代表取締役社長

三隅 治雄 (財)日本民族芸能国際交流協会
理事長

山内 令子 (福)富岳会理事長

吉田 貴壽 昭和音楽大学名誉教授

監事

長内 健 弁護士、東京永和法律事務所

宮地 真澄 (社)全国モーターボート競走会
連合会理事長

(理事・監事は五十音順)

2001年度助成金交付申請の締切迫る

2001年度の日本太鼓助成金交付申請の受付を2000年9月末日で締切ります。
希望団体は早急に書類を整え、9月末日までに当財団宛に申請を行って下さい。

心に響け！ドンドンフェスティバル ～第2回日本太鼓全国障害者大会を開催～



(伊豆医療センター「どんつく」)

第2回日本太鼓全国障害者大会(主催：財団法人日本太鼓連盟、主管：社会福祉法人富岳会・静岡県太鼓連盟、後援：厚生省、静岡県)が日本財団の助成事業として6月17日(土)静岡県御殿場市の御殿場市民会館で開催されました。当日は悪天候にもかかわらず、全国各地より選ばれた障害者の太鼓チーム14団体による大会を見ようと、約1,000人の観客で会場は埋まりました。

今回は、各チームの演奏前に代表者が、今までの苦労や太鼓を叩き始めた理由などの体験発表を行い、続いて、チームの演奏がはじまりました。第1回大会と比べ、演奏技術は数段上がり、中には、健常者以上の素晴らしいバチさばきを披露したチームもありました。

各チームの体験発表と演奏が終わるたびに、会場を埋めた満員の観客から惜しみない拍手が起こり、多くの方に感動を与えました。

ここに、長崎県から出演された知的障害者チーム勤労障害者長崎打楽交流団瑞宝太鼓宮本里美さんの体験発表をご紹介します。

『長崎から全国各地、そして、スペインやアメリカへも遠征しましたが、今この地で皆様と出会うことができ、皆様の前で太鼓を叩ける嬉しさでいっぱいです。

私達の旅は、この世に生まれた時から始まりました。まだ、お母さんの胸に抱かれ、お乳の匂いと、暖かい母親の愛情に包まれ、心地よく眠っていた頃、両親は宣告されました。「この子は、障害児です。普通の人生を歩めない。」と…。

それから、やがて私達は、施設に入寮しました。そこは、一見、ユートピアのように見えるところでしたが、家族や住み慣れた故郷を離れての生活は、寂しく、悲しい毎日でした。「お母さんに会いたい」「会社で働きたい」「自由な生活がしたい」「1人の人間として認めてもらいたい」…そう思う毎日が続きました。

しかし、そんな思いや願いを伝えたり、周りの人に分ってもらうのが上手くできないのは、私達の個性であり、障害なのです。でも、そんな時、和太鼓に出会いました。厳しい訓練や、辛い仕事の中で、ふと心安らぐ一時が、和太鼓の響きに耳を傾け、自ら太鼓を叩いている時でした。みんなと一緒に太鼓を叩くようになり、友達もできました。太鼓なら自分の気持ちも出せるような気がしてきました。それまで、人の前で喋ることなんてできない私でしたが、今、こうして皆さんの前に立っていただけるのも太鼓と仲間のお陰です。少しだけど、自信もつき、私達は何も出来ないのではなく、何もさせてもらえなかったのだと思います。

今では、みんな職業を持ち、自分の働いたお金で自分で決めて生活しています。毎日、残業や地域のボランティア活動で忙しいけど、和太鼓が大好きで、暇な時を見つけて練習しています。

今日、私達の太鼓を聞いていただき、私達の思いを感じていただければ嬉しいです。これからも、希望し、努力し、感謝して、太鼓とともに挑戦し続けたいと思います。』

*この体験発表をリハーサルの際は、スムーズに読めなかった彼女ですが、翌日の本番では見事に読み上げ、観客に大きな感動を与えました。

出演団体

〈聴覚障害チーム〉5チーム

甲州ろうあ太鼓(山梨)、大江戸助六流ろう者太鼓「鼓心会」(東京)、諏訪聾太鼓(長野)

豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」(大坂)、龍姫太鼓(兵庫)

〈身体障害チーム〉1チーム

伊豆医療センター「どんつく」(静岡)

〈知的障害チーム〉8チーム

恵那のまつり太鼓保存会(岐阜)、希望太鼓(鳥取)、勤労障害者長崎打楽交流団瑞宝太鼓(長崎)、仁寿太鼓(鳥根)、ファミリーユニット「童鼓」(岐阜)、大井川越し太鼓チャレンジチーム(静岡)、わらしな太鼓(静岡)、富岳太鼓(静岡)



(体験発表をする宮本里美さん)

日本太鼓と学校教育—2

今回は、岐阜県の「羽流太鼓」の代表である羽土聡氏から2002年の学習指導要領改正について、また、長崎県の知的障害児施設「長崎県立光が丘学園」の保育士・山道邦代さんから障害児と日本太鼓について、それぞれ寄稿がありましたので、ご紹介いたします。

日本中の音楽室に日本太鼓が…

羽流太鼓代表 羽土 聡

私は、ご府県教育委員会の音楽担当指導主事として、小中学校や各都市の音楽科教員研修会などを訪問し、授業を参観したり、助言したりしています。会報10号の「日本太鼓と学校教育」を拝見し、財団の一員として、また、学校教育に携わっている者として大変嬉しく思いました。

2002年からの新学習指導要領の中に、「豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成すること」という項目があります。今まで欧米諸国に追いつけ、追い越せという傾向にあった日本人に、音楽科では自国の伝統音楽文化の良さに気づき、尊重しようとする態度を育成する事で、新たな自覚を高めることを目的としています。

その一つに、「中学校における和楽器の学習」があるのです。そうして、小学校でも次の対照表のように和楽器の指導が重視されています。

近頃では、音楽科教員の日本太鼓に対する関心が非常に高く、研修意欲の高さを感じます。会員の皆様も、教師の研修会や地域の学校へ太鼓を教えに行かれる機会が増えてくると思います。その日のためにも、全国講習会などに参加し、基本から学び直すことも大切ではないでしょうか。私も財団化される前から含めると十数回参加しました。一流講師、全国の太鼓を愛する皆さんとの出会いは、人生の貴重な宝物です。

学習要領改正を日本太鼓のさらなる普及のチャンスととらえ、みんなで手を取り合い、学びあったり演奏しあったりしていけたら素晴らしいと思っています。

日本中の音楽室から日本太鼓が響く日も遠くありません。

楽器（打楽器）に関する内容の新旧対照表

	旧 学 習 指 導 要 領	新 学 習 指 導 要 領
小学校	各学年で取り上げる打楽器は、木琴及び鉄琴をふくめて、演奏の効果や能力を考慮して選択すること。	各学年で取り上げる打楽器は、木琴、鉄琴、我が国や諸外国に伝わる様々な楽器を含めて、演奏の効果、学校や児童の実態を考慮して選択すること。
中学校	指導上の必要に応じて弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、電子楽器、 <u>和楽器および民族楽器を適宜用いること。</u>	指導上の必要に応じて弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、電子楽器及び世界の諸民族の楽器を適宜用いること。また、 <u>和楽器については、3学年を通じて1種類以上の楽器をもちいること。</u>

障害児と日本太鼓

長野県立光が丘学園 保育士 山道 邦代

知的障害児施設「長崎県立光が丘学園」で、和太鼓を取り入れて10年が過ぎました。学園祭で、竹や酒樽などを使って、和太鼓の模擬演奏をしたのが始まりですが、子供達は予想以上に興味を示し、とても楽しく取り組みました。「もしかしたら、和太鼓はこの子供達に合うのではないか。このまま出し物として終わるのではなく、子供達の療育の中に取り入れてみてはどうだろうか。」と考え出した矢先、新聞で太鼓連の田中俊己先生を知り、早速、会いに行きました。

まず、職員が3ヶ月間、田中先生から基礎打ちを指導して頂き、それを職員が子供達に教えるという形で練習を始めました。学園に本物の和太鼓はありませんでしたから、竹やタイヤを太鼓代わりにし、新聞紙を丸めてガムテープでぐるぐる巻きにしたバチで打たせました。力の加減をしない子供達のバチはすぐボロボロになりましたが、その力強さは嬉しい限りでした。

（田中先生にはそれ以来、技術の指導だけではなく、色々な面でご支援頂き感謝しております。）

光が丘学園の和太鼓は、障害の重い軽いを問わず、全児童がバチを握り、太鼓の前に立つところに最大の意義があります。多動で太鼓の前に立っておれない子、大きな音に耳をふさぐ自閉傾向の子、集団行動が苦手で飛び出す子、バチを投げる子など、すぐには受け入れてくれない子供もいましたが、和太鼓が子供達を魅了するのにそれほど時間はかかりませんでした。それがどうしてなのかは上手く言えませんが、とにかく、一時もじっとしていなかった子が太鼓の前に立って自分の順番を待ち、心身の動きの慌ただしい子が音楽に合わせて快くリズムをとり、対人関係に歪みのある子が仲間と協調して演奏し、人前に出ることが出来るというような様々な変化が目に見えて現れてきたのです。

最初は、子供達が音楽の楽しさを味わってくればいい。自分達で楽器を演奏する職員の「孔雀太鼓」(子供達に負けてはいられないと結成した職員チー

ムです。)は、いつの間にか二人三脚で色々なイベントに出演させて頂くようになっていました。それまで学園の子供達が地域の中で活動するとか、自分達をアピールする場などほとんどありませんでしたから、ひかり太鼓が学園と地域との架け橋の一つになってくれたのです。

ステージに立ち、スポットライトを浴びながら演奏する子供達の顔は、自信に満ち溢れ輝いています。そして、自信を持った子供達には更にやる気が湧きます。ひかり太鼓は、もう子供達にとって無くてはならないものになりました。

このような学園の太鼓には、よだれや鼻汁がつくこともしばしばあります。乱暴に打たれて皮はガサガサ、太鼓の縁はデコボコです。たまには押し倒されて台から落ちたりもします。それでも7台の和太鼓は、子供達のまっすぐな心を、いつでも“ドーン”と頼もしく受け止めてくれています。

◆◆ 協力事業 ◆◆

第1回競艇名人線競走で太鼓を演奏

大阪の住之江競艇場で開催された第1回競艇名人戦競走において3日間、太鼓演奏を行いました。

住之江競艇場で太鼓演奏を行うのは、今回で3回目となり、太鼓に対する評価が高まり、太鼓ファンも増えてきております。見る目も厳しくなっているファンの前で、迫力ある演奏を披露しました。

- 4月20日(木) 加賀太鼓保存会(石川県)
- 21日(金) 大江戸助六太鼓(東京都)
- 23日(日) 掛合太鼓保存会(島根県)



フランス語婦人会25周年記念祝賀晩餐会で演奏

5月19日(金)フランス大使館大使公邸において、フランス語婦人会25周年記念祝賀晩餐会が開かれました。対象がご婦人とあって、女性の多いチームとして静岡県の「富岳太鼓」が出演しました。大使館公邸のすてきな庭の大燈籠の前で演奏し、大勢の出席者から拍手が贈られていました。

また、演奏後には、太鼓に大変関心のある高円宮殿下同妃殿下が富岳太鼓代表の山内氏からバチを受け取られ、楽しそうに太鼓を叩いておられました。



第8回日本太鼓全国講習会を開催

第8回日本太鼓全国講習会が5月27・28日の両日、熊本県の山鹿総合体育館を中心に行われました。

今回は、全九州太鼓連合、熊本県太鼓連合の主管により行なわれたもので、長谷川会長、今井支部長をはじめとする会員の皆さんの熱意と努力に心から感謝を申し上げます。

講習会には、地元九州をはじめ、全国各地から280名の受講者が参加しました。開講式には、財団を代表して塩見副会長と主管団体の全九州太鼓連合の長谷川会長が挨拶、続いて河村市長より歓迎の挨拶がありました。引き続き、専門講座講師による模範演奏が行なわれました。悪天候の中、午後からは講師による厳しい指導が開始されました。

翌2日目は、朝の集いから始まり、講座も順調に進み、成果発表では3専門講座で技術を習得した受講生による演奏がそれぞれ行われ、2日間の講習による上達ぶりを披露しました。

閉講式では、小野常務理事が挨拶をし、講習会は無事終了しました。

○専門講座

大江戸助六太鼓講座（講師：小林 正道氏）

大太鼓講座（講師：池田美由紀氏）

笛講座（講師：高野 巧氏）

○基本講座

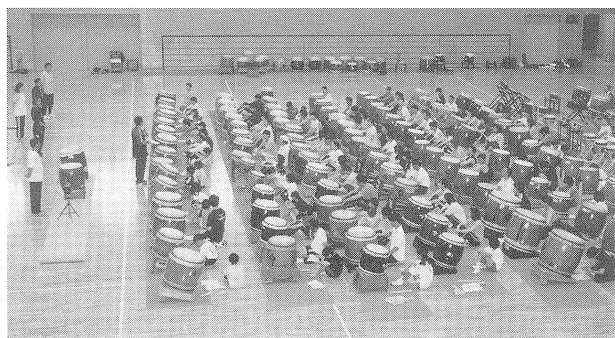
3級基本講座（講師：渡辺 洋一氏）

4級基本講座（講師：松枝 明美氏）

5級基本講座（講師：古屋 邦夫氏）

希望者による検定試験が行われ、結果は次のとおりとなりました。

1級検定	3名受験	3名合格
2級検定	6名受験	4名合格
3級検定	13名受験	13名合格
4級検定	58名受験	53名合格
5級検定	87名受験	87名合格



(5級基本講座)

第1回公認指導員更新研修会を実施

第1回の公認指導員更新研修会が全国講習会と併行して行なわれ、地元九州をはじめ全国から35名の公認指導員が参加しました。

○公認指導員更新研修会内容

太鼓界の現状と今後（講師：塩見 和子氏）

太鼓の歴史と特性（講師：浅野 義幸氏）

指導者としての心構え（講師：西角井正大氏）

公認指導員更新研修会に参加して

2級公認指導員 田中 俊己

5月27・28日の両日、熊本県山鹿市で、第8回日本太鼓全国講習会の開催に併せて、第1回公認指導員更新研修会が開催されました。

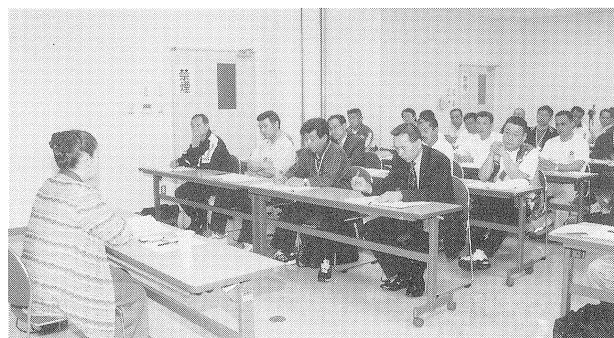
九州各県と全国各地の公認指導員が35名参加し、2日間の研修を受けました。

九州での講習会で、世話役と受講生という2役を務めることは大変でした。早朝より会場の準備、開会式が終わるまではスタッフとしてあれこれ仕事をこなし、終了後は受講生となることから始まりました。

研修会は、塩見副会長の「太鼓界の現状と今後」の講話から始まりました。その内容は、現在私が目指し、実行している指導そのものでした。自分の指導を再確認できた大変有意義な講話でした。

次に、5級基本講座を見学し、実動の現場を研修しました。教室に戻り、浅野講師による「太鼓の歴史と特性」について講話を受け、続いて古屋講師による鎮魂の太鼓の実技指導があり、第1日目の日程を終了しました。2日目、西角井講師による「指導者としての心構え」として、我々とは違った別の視点から指導員のあり方についてのお話でした。

研修会における各講師の講話は大変為になりましたが、もう少し実動の部分が多くても良かったのではないかと思います。そして、最後に公認指導員でありながら、講習会に参加しない指導員、また、公認指導員の資格を持たず、素晴らしい指導をする方々の処遇を考えていただきたいと思います。



(初めての公認指導員更新研修会)

第2回・第3回日本太鼓支部講習会を開催

第2回日本太鼓支部講習会(長野)を開催

6月24日(土)・25日(日)に長野県穂高町泉郷プラザホテル安曇野において、第2回日本太鼓支部講習会が行われました。講座は、4級・5級基本講座と助六太鼓講座、篠笛講座が設けられ、152名の受講生が参加しました。講習会終了後、希望者による技術認定試験(学科・実技)が行われました。

結果は次の通りです。

4級検定	45名受験	45名合格
5級検定	81名受験	81名合格

第3回日本太鼓支部講習会(千葉)を開催

7月8日(土)・9日(日)に千葉県白子町青少年センターにおいて、第3回日本太鼓支部講習会が行われました。講座は、4級・5級基本講座が設けられ、前日の台風にもかかわらず、123名の受講生が参加しました。講習会終了後、希望者による技術認定試験(学科・実技)が行われました。

結果は次の通りです。

4級検定	20名受験	20名合格
5級検定	103名受験	103名合格

以上の結果、現在の技術認定員は次の通りとなりました。

1級2名、2級16名、3級60名、4級242名、5級981名となり、技術認定員総数は1301名となりました。(2000年7月現在)

第4回日本太鼓チャリティーコンサート ～日本YMCA国際賛助会に協賛～

(財)日本太鼓連盟主催、日本YMCA国際賛助会共催、による第4回日本太鼓チャリティーコンサートが、日本財団の助成事業として去る5月12日東京・草月ホールで行なわれました。

毎年、公益団体の活動支援を目的に行われており、今年は当財団理事クリストファー・マクドナルド氏のご紹介で、日本YMCA国際賛助会が毎年行っている心身に障害のある子供達のサマーキャンプを支援するために行われました。

当日は、日本の伝統文化である日本太鼓の素晴らしさを広く紹介するために政・官・財界、在日外国高官及びオピニオンリーダーの人たちを招待し、300名以上の出席者で会場が埋まりました。

演奏前に行なわれたレセプションの会場には、日本YMCA国際賛助会の活動を伝えるパネルと、社会福祉法人富岳会に所属する障害者の方々による多くの絵画の展示が行われました。

コンサートは主催者から塩見副会長、共催者からは日本YMCA国際賛助会パタソン会長がそれぞれ挨拶を述べた後、全国各地から選抜された代表的な日本太鼓チームと第2回日本太鼓ジュニアコンクールで優勝した静岡県・天城連峰太鼓を加えた6チームによる競演が行われました。出演チームは、それぞ

れ特色ある演奏と力一杯のバチさばきを披露し、観客からは大きな拍手が贈られていました。

出演チーム

1. 太鼓集団天邪鬼 (東京都)
2. 富岳太鼓障害者チーム (静岡県)
3. 八木節宗家 上州桂会 (群馬県)
4. 天城連峰太鼓 (静岡県)
5. 小倉祇園太鼓田町チーム (福岡県)
6. 手取亢龍太鼓保存会 (石川県)

*募金総額472,600円は、日本YMCA国際賛助会に寄贈いたしました。皆様のご協力に感謝いたします。



(小倉祇園太鼓田町チーム)

◇ 東京都・愛知県に支部が開設 ◇

このたび、新たに財団法人日本太鼓連盟の東京都支部、愛知県支部が開設いたしました。
両支部の代表者より挨拶をいただいておりますので、ご紹介いたします。

財団法人日本太鼓連盟東京都支部

松本源之助支部長（江戸里神楽士師流家元）

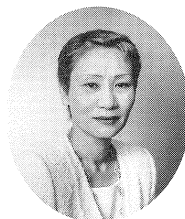


お江戸日本橋七つ立ち一の昔から、物のはじめは東京で、何でも揃っているはずなのに、ここにはない物がありました。日本太鼓連盟の東京都支部です。日本全国津々浦々に、何処へいっても支部があるのに、東京だけがない。そうと知った時の驚き、まさかの灯台もと暗しでした。かくてはならじと急いでこの度ドーンとバチの音高く、太鼓の支部をこさえに励みました。と言いましても、鳥ならひよこ、人なら赤ん坊。遅ればせながら、この末っ子を一人前に育てるため、先輩各支部の皆々様、どうぞよろしくお力添え、伏してお願い申し上げます。

加盟団体 13チーム

財団法人日本太鼓連盟愛知県支部

西川恵美子支部長（尾張新次郎太鼓保存会会長）



太鼓を通じて、全国の太鼓仲間と交流を深め、心のふれあいと技術を広めていきたいと、常日頃から考えておりました。

この度、加盟チームが衆議一決のもとに申請いたしましたところ、入会と支部開設のご承認を戴き、会員一同大変嬉しく思っております。

今後は、権威ある財団法人日本太鼓連盟の愛知県支部として規約を遵守し、幅広く活動して参る所存でございますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

加盟団体 8チーム

事務局だより

池田副会長「北國風雪賞」を受賞

5月21日(日)石川県北國新聞会館において、財団副会長池田庄作氏が「北國風雪賞」を受賞いたしました。この賞は、石川県内の産業、文化・芸能、社会福祉などの各分野で「地の塩」として地道に業績を重ね、一隅を照らしてこられた方々を称えるものです。

また、7月2日(日)に池田庄作氏北國風雪賞受賞記念式典が金沢市内の全日空ホテルで行われました。

各地のたより

- 8月12日(土)
岡谷太鼓まつり2000
(会場：長野県岡谷市内各所)
- 9月9日(土)
秋田県太鼓連盟創立15周年記念
(会場：秋田ふるさとドーム)
- 10月15日(日)
平成12年度全国太鼓フェスティバル
(会場：岩手県陸前高田市民体育館)

さいたま新都心街びらきに日本太鼓を演奏

さいたま新都心街びらきの記念式典が、5月5日秋篠宮殿下同妃殿下ご来臨の中、さいたまスーパーアリーナで開催されました。川口初午太鼓を中心に、各チームが勇壮なバチさばきでオープニングを飾りました。

